

デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会第1回 検討事項に対するコメント（関西大・水谷）

②新たな課題と各ステークホルダーによる対応状況：

- 情報・サービスの「ジャングル」の中で、アテンション・エコノミーが加速。
- 個人の「脆弱性」

③今後の対応にあたっての基本的な考え方：

- 基本理念：デジタル立憲主義、民主主義プロセスに必要な環境形成（e.g. European democracy action plan）
- 情報受領者（国民）の「自由に、さまざまな意見、知識、情報に接し、これを摂取する機会」*、特に信頼性の高い情報へのアクセス保障。
- 表現者中心から環境中心アプローチ、権利ベースからシステムミックな視点に基づくガバナンス設計へ

④デジタル空間における情報流通の健全性確保に向けた具体的な方策：

- **情報流通（DPF）事業者**：情報流通管理プロセスの透明性・アカウントビリティの向上、信頼性の高い情報の発見可能性の向上、メタ情報の可視化
- **情報生成事業者**：信頼性の高い情報（e.g. 報道）の生成プロセスのガバナンス、応答性、持続可能性
- **政府**：透明性・アカウントビリティの向上

